

七色花

冈山县老人院观摩·交流会



与设施一日服务利用者
进行交流的情形

4月23日(周二)以冈山县归国者为对象举办了老人院观摩·交流会。上午,在冈山水果农园体验了摘草莓后,下午访问了冈山市特别养护老人院「幸辉园」。设施的工作人员热情的接待了归国者,并对设施内部进行了细致的讲解。宽敞明亮的布局给归国者留下了良好的印象,还和那里的利用者一起进行了交流活动。归国者用日语做了自我介绍和表演内容的说明后,为设施利用者表演了二胡和日语歌谣。遇到大家都熟知的曲目时,利用者也一起跟着轻轻的哼唱,整个交流活动一直处在一片温馨的气氛中。



向归国者进行
入浴设备说明

广岛县咨询说明会

5月9日(周四)以广岛县归国者为对象进行了「急救法讲座」。使用人体模型练习了如何对心脏停止跳动的伤病者进行心肺复苏以及AED(自动体外除颤器)的使用方法。最初,绝大多数人都不知道什么是AED,所以刚开始时大家有些手忙脚乱,随着反复的练习,每个人渐渐开始熟练。据指导讲师说,比起详细要求大家做规范动作,更为重要的是让大家掌握心肺复苏的方法,以及熟练AED的使用方法。希望通过这次讲座,让归国者在紧急情况下能够冷静的处理应对。

归国者利用人体模型练习心脏按摩的情形→



山口县社会观摩



5月11日(周六)以山口县归国者为对象进行了社会观摩会。这次和大家一起来到九州,首先参观了小仓城和小仓庭园,之后游览了门司港的怀古街景。在小仓庭园,大家坐在长凳上试尝了抹茶和季节性的和式点心,借此机会轻松的体验了日本的文化。小仓城内还专设了椅式升降机,让腿脚不便的高龄归国者1代也能轻松愉快的观览城内的展示。这位归国者平时少有外出机会,所以与他人交流的机会也不多。欢谈期间,特别提到每次都是满怀欣喜的期待着中心每年1次的交流会。在此,希望大家一定要多多保重身体,以待来年再见!

←乘坐椅式升降机在小仓城内移动的归国者

鸟取县企业观摩·交流会

5月25日(周六)以鸟取县归国者为对象举办了企业观摩·交流会。这次参观学习的企业御座候位于姬路市。到了工厂后,工作人员对场内的自动生产流水线进行了详细的介绍,让大家对日本食品卫生管理的严格性有了更进一步的了解,并加深了对日本食品加工的安全·安心的信赖性。下午,和大家一起参观了姬路城和好古园。在姬路城通过志愿者翻译对城内的介绍,让大家借此机会接触了日本的历史文化。最后在观赏了好古园的景色后,归国者集聚在中心工作人员身边,就来日的生活近况进行了情报交换。和大家一起度过了充实的一天。



通过录像了解御座候工厂
的内部生产情形

通知

~所泽定着促进中心结业者交流会~

本中心计划举办的这次交流会,优先照顾所泽定着促进中心结业者。大家可以借此机会与当年的老师以及旧友再见。希望参加者请直接与中心联系。内容具体定下来后,再向报名者邮送详细资料。

日期:初步预定为平成25年10~11月(2天1宿)

参加费:1人30,000~35,000日元(预定)※包括宾馆住宿费及伙食费
(※根据所在地区不同,参加费多少有变动。)

~阿品台迷你高尔夫球讲座~

做为中心交流活动教室的一环,在广岛县廿日市市阿品台公园开设迷你高尔夫球讲座,每周五进行练习。有兴趣者请直接与中心联系。

投稿

下面这封信来自广岛市的中村美智子女士。

至各位中心老师好。久疏问候,万望见谅。定期寄来「七色花」,深表感谢。时光飞逝,从终战至今,已将近68年。刚刚11岁的我在那段艰难的岁月,懵懂之间,失去了双亲,仅仅幸存我们姊妹两人。一晃儿就在中国度过了50年的岁月。在我61岁那年终于回到了自己出生的土地。可以说是无比欣喜。回想起来,这真是命运啊!对我来说,有两个一生难忘的故乡,一个是生我的「日本」,一个是养我的「中国内蒙古」。两者都令我难以忘怀!



中村美智子女士

记得刚刚回到日本时,首先在广岛县中国归国者定着促进中心学习了一段时间。那里的老师认真教我们这些身为日本人却一点儿也不会日语的归国者,学习了日本的生活习惯和日语的基础知识,借此机会向当年的老师表示衷心的感谢。之后,又在广岛县中国归国者自立研修中心学习了8个月,通过这里的学习让我们知道了今后在日本生活必须掌握的知识。两所中心的老师还带着我们去了各种有名的场所去参观学习,增加了我们宝贵的体验机会。让我们永远难忘。再次衷心的感谢。

来到广岛市定居,到今年的11月就是18年了。近来,一直在坚持两膝的治疗,如果能有所改善,真希望能和各位老师以及朋友们再聚会。在此,期盼着这一天的早日到来。

6月·7月预定

6月 8日	社会观摩会	〔爱媛县〕	7月 5日	地区支援机关联络会	〔广岛县〕
6月 10日	异文化交流会	〔冈山县〕	7月 19日	咨询说明会	
				促进健康交流会	〔高知县〕

征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿的字数限400字以内,投稿可直接送到中心,通过邮寄、传真亦可。期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

我不喜欢6月,大家知道这是为什么吗?是不是因为6月闷热呢?或者是因为6月一直细雨缠绵呢?其实都不是,是因为6月中一个节庆日都没有。7月的「海之日」是在1995年制定的,相对而言是新制定的公众节假日。如果我是政治家的话,一定在选举时制定「在6月设定雨之日」这样的公约。还是不妥,这个季节的「雨之日」,容易让人联想起水患,那就定为「水滴之日」吧。在这个身体容易欠佳的季节,希望大家一定不要过于操劳!
(桥本)

七色花

【発行者】

中国・四国中国帰国者支援・交流センター

社会福祉法人 広島県社会福祉協議会

〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2

TEL 082-250-0210

FAX 082-254-2464

E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

岡山県高齢者施設見学・交流会



デイサービス利用者との交流会の様子

4月23日(火)岡山県の帰国者を対象に高齢者施設見学・交流会を開催しました。岡山フルーツ農園でイチゴ狩りを体験した後、岡山市にある特別養護老人ホーム「幸輝園」を訪問しました。施設の職員が温かく迎えてくださり、丁寧に案内していただきました。大変明るく開放的な施設の様子に帰国者は良い印象を受けたようです。最後にデイサービス利用者と交流会を行いました。帰国者は日本語で自己紹介や曲の内容紹介をし、二胡を演奏したり、日本の童謡や歌謡曲を披露したりしました。利用者も一緒に口ずさみ、ほのぼのとした雰囲気となりました。



入浴設備の説明を受ける帰国者

広島県相談説明会

5月9日(木)広島県の帰国者を対象に相談説明会「救急法講習会」を開催しました。心停止となった傷病者に対する心肺蘇生の方法やAEDの使い方について、人形を使って体験しました。AEDに関しては全く知らなかった人が多く、最初は使い方に戸惑っていましたが、繰り返し練習するうちに、動作がスムーズになっていきました。講師の話では、初心者に関しては、細かく指導するよりも、とにかく心肺蘇生の方法を知ってもらい、AEDの使い方に慣れてもらうことが大切だということでした。今回の研修は、帰国者にとって応急手当の基本技術を身に付けるよい機会となったようです。

人形を使って心肺蘇生の練習をする帰国者



山口県社会見学会



5月11日(土)山口県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。九州まで足をのばし、小倉城と小倉城庭園を見学した後、門司港レトロを散策しました。小倉城庭園では立礼席(机と椅子のお茶室)で抹茶と季節の和菓子をいただき、本格的な茶席を体験しました。小倉城の階段には椅子式昇降機が設置され、足の不自由な1世の帰国者も快適に見学することができました。その帰国者は普段から外出することがほとんどなく、人と話をする機会も少ないとのこと。会話の中で、年に1回の交流会を毎年心待ちにしている様子が伝わってきました。また来年も元気に参加してもらいたいと願います。

←小倉城の階段を椅子式昇降機で移動する帰国者

鳥取県企業見学・交流会

5月25日(土)鳥取県の帰国者を対象に企業見学・交流会を開催しました。企業見学で訪れた御座候では、担当者から工場内の生産ラインを丁寧に紹介していただきました。帰国者たちは、厳しい衛生管理がされている様子に感心していました。日本の食品加工に対して、安全・安心で信頼性が高いイメージを持たれたようでした。午後は、姫路城と好古園を見学しました。姫路城では、中国語ボランティア通訳による説明を受け、日本の歴史と文化にふれることができました。好古園を散策した後、センター職員と帰国者がゆっくりと話す機会を持つことができ、充実した一日を過ごすことができました。



ビデオで御座候の製造工程の説明を受ける帰国者

お知らせ

①所沢定着促進センター出身者交流会

当センターでは、所沢定着促進センター出身者を優先とした交流会を企画しています。この機会に懐かしい先生に会ってみませんか?参加を希望される人は、センターへ連絡してください。詳しい内容が決まり次第、資料をお送りします。

日時:平成25年10~11月の予定(1泊2日)

参加費:1人30,000~35,000円程度(予定)※ホテル代、食事代を含む

(※参加地域によって参加費が異なります)

②阿品台グラウンドゴルフ講座

広島県廿日市市阿品公園で、交流活動教室の一環としてグラウンドゴルフ講座を始めました。毎週金曜日に練習を行っています。興味のある人は当センターへ連絡してください。

投稿

広島市にお住いの中村美智子さんからお手紙をいただきました。

センターの先生方、長い間、ご無沙汰しています。いつも「七色花」を送っていただき、ありがとうございます。

年月が経つのは早いもので、終戦から間もなく68年になります。その時、私は11歳でした。何もわからないあの苦しい時代に、親を亡くして生き残った姉妹は中国で50年を過ごし、私は61歳でようやく生まれ故郷に帰ってきました。本当に嬉しかったです。これが私の運命なのかなと思いました。私には一生忘れられない大事な二つの故郷があります。一つは生まれた「日本」、もう一つは育った「中国内モンゴル」です。いつまでも忘れられない思いです。



中村美智子さん

日本に帰国して初めて入所した施設は、広島中国帰国者定着促進センターです。日本人なのに日本語のわからない私たちに日本の生活習慣や日本語の基礎的学習などを丁寧に教えていただき、心より感謝しています。その後、広島県中国帰国者自立研修センターで8か月、日本の社会で生活していく大切な知識を教えてくださいました。この二つのセンターでいろいろな有名な所に見学に行き、貴重な体験をさせていただきました。私たちはいつまでも忘れることはありません。心より感謝しています。

広島市に定着して早いもので今年の11月で18年になります。私は今、両ひざを治療しています。良くなったら先生方や友人たちにぜひお会いしたいです。その日を楽しみにしています。

6月・7月の予定

6月 8日	社会見学会	〔愛媛県〕	7月 5日	ブロック支援機関連絡会	〔広島県〕
6月 10日	異文化交流会	〔岡山県〕	7月 19日	相談説明会 健康増進交流会	〔高知県〕

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか?みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

私、6月が嫌いなんです。蒸し暑くなるから?ジメジメするから?いえいえ、祝日がい〜っこないからです。7月の「海の日」は1995年に制定された比較的新しい国民の休日です。私が政治家になるなら、「6月に雨の日を作る」という公約で選挙を戦うと思います。「雨の日」はこの時期水害が連想されて縁起が悪いので、「滴の日」がいいかな。体調を壊しやすい時期です。皆さん、働きすぎには注意しましょう。(橋本)